株式会社東邦システムサイエンス

TSS Report 2022年3月期 報告書

2021年4月1日~2022年3月31日

証券コード: 4333

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。 当社は、2021年(令和3年)に設立50周年を迎え、次なる半世紀への道を歩みだしました。不確実性の高い時代を生き抜くために、『お客様と共に未来を創る』をスローガンに、お客様が求める価値を共に創造し実現すると共に、その先にある社会課題の解決を図り、持続可能な未来社会を創ることを目的として、新たに『長期経営ビジョン2030』を策定いたしました。また、そのマイルストーンとして2022年度を初年度とする「中期経営計画」を発表し、社会のDX化を加速させるとともに、既存事業の成長と収益性の向上、新規事業の創出による新たな成長分野の確立を図ることで、確かなる事業成長を目指してまいります。

特に2023年3月期については、下記を重点施策として取り組んでまいります。

- 開発パワーの増強(プロパー社員及びパートナー社員の増強と 育成強化)
- DX開発推進センターの設置(活況なDX需要への対応とDX技術者のOJT育成)
- 事業ポートフォリオの変更(金融以外の通信、公共領域の事業拡大) 更に、未来の業績確保を狙い、攻めの投資を行ってまいります。
- ・人への投資(社員給与の引き上げ、HRMシステム導入)
- ・事業向け投資(フロア増床、新事業への人財投入)
- 業務効率化等(クラウドを用いた作業環境の構築、セキュリティ強化、 BCP対策)

また、当社は東京証券取引所の新市場区分において「プライム市場」を 選択しました。今後ともステークホルダーの皆様にご支援いただけ ますよう、株式流動性の確保とガバナンスの強化に努めるとともに、持続的 な成長と中長期的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援のほど、よろしくお願い 申し上げます。

当事業年度の業績について

当事業年度における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の 影響が続くなか、ワクチン接種の普及拡大や緊急事態宣言の解除等 により徐々に回復の動きがみられたものの、厳しい状況が続きました。



当社が属する情報サービス産業においては、業種や企業ごとに濃淡はあるものの、業務効率化や生産性向上を目的としたDXを中心に、システム投資需要が継続しております。

このような環境のもと、当社は売上面では、活況なDX対応案件や 基幹系システムの刷新案件、制度対応案件の獲得に向けた営業活動を積極的に行い受注確度を高めてまいりました。利益面については、引き続き在宅勤務により事業の継続性を確保するとともに、自社内への持ち帰り開発を推進し人的リソースの適正化を図りました。加えて、プロジェクト革新室を中心に受注案件の仕損防止を徹底し全社として生産効率を高めてまいりました。

社内業務の効率化の面においては、新たに導入した社内基幹システムの本格運用を開始し、管理負荷の軽減を図りました。また働き方変革においては、健康経営に向けた積極的な取り組みを行うとともに、社員一人ひとりが意欲的に仕事に取り組むことができるよう、新たな人事制度や人財マネジメントシステム要件の検討、トレーナー制度の実施等、キャリア形成を支援する様々な仕組みの整備を行いました。

これらの結果、当事業年度の業績は、売上高は14,211百万円 (前期比16.6%増)、営業利益は1,327百万円(同23.3%増)、経常 利益は1,337百万円(同23.2%増)、当期純利益は942百万円(同 25.9%増)となりました。

IRサイトリニューアルのお知らせ

2022年6月1日に、当社WebサイトのIRページをリニューアルいたしました。





こちらからアクセス、 https://www.tss.co.jp/ir/ tabid/534/Default.aspx



株主還元施策

株主の皆様に対する利益還元は経営の最重要課題と位置付け、 企業としての競争力の向上と企業価値の最大化の追求によって、 長期かつ安定的な配当を継続するとともに業績や内部資金の確 保などを総合的に判断し、配当性向は40%程度とすることを基 本方針としています。

期末配当金のお知らせ

2022年3月期の1株当たり配当金は、期末配当金を15円とし、中間配当金15円と合わせ、30円としました。

2022年3月期 年間配当金 30 円

株主優待制度のお知らせ

毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された 2単元 (200株) 以上を保有していただいている株主様に進呈。



内容

2単元 (200株) 以上を保有している株主様に一律、クオカード1,000円分を年1回贈呈いたします。

送付時期

毎年12月上旬予定

株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数48,000,000株
12,106,178株
第行済株式の総数12,106,178株
(自己株式1,759,814株を除く)株主数4,326名

大株主(上位10名)

持株数(株)	持株比率(%)
1,149,800	9.5
1,090,362	9.0
1,023,700	8.5
827,200	6.8
585,000	4.8
559,800	4.6
426,180	3.5
400,140	3.3
245,400	2.0
234,000	1.9
	1,149,800 1,090,362 1,023,700 827,200 585,000 559,800 426,180 400,140 245,400

(注) 1 持株比率は発行済株式総数から自己株式を控除して算出しております。 (注) 2 日本ユニシス株式会社は、2022年4月1日をもってBIPROGY株式会社に商号変更をしております。

武方老则性学粉(デ会老)

外国法人等 94,518株 (0.7%) その他国内法人 4,413,291株 (31.8%) ――――

個人その他 8,099,762株 (58.4%)

金融機関・証券会社 1.258.421株 (9.1%)

※ 自己株式1,759,814株は、「個人その他」に含めております。

会社概要 (2022年3月31日現在)

A1111/19 (2022)	+3月31口坑红/
会社名	株式会社東邦システムサイエンス
設立	1971年6月
資本金	5億2,658万円
事業内容	ソフトウェア開発及び情報システムサービス等
社員数	552名
本社	東京都文京区小石川一丁目12番14号

株主メモ

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月中
定時株主総会の基準日	毎年3月31日
期末配当金受領株主確定日 中間配当金受領株主確定日	毎年3月31日 毎年9月30日
株主名簿管理人及び 特別 ロ座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
郵 便 物 送 付 先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部 (電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法といたします。 当社の公告はホームページに掲載いたします。 https://www.tss.co.jp/tabid/67/Default.aspx
単 元 株 式 数	100株

IRメール配信のご登録をお願いします

当社の企業ニュースや最新のお知らせなどのIR 情報をメールにてお知らせいたします。



四半期ごとの決算説明動画公開

当社サイトのIRライブラリにて、決算説明会の動画を公開しております。



業績ハイライト

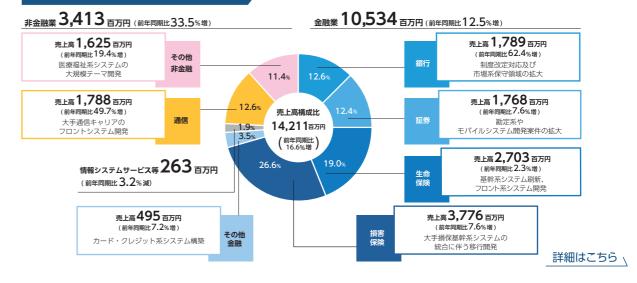


長期経営ビジョン2030

変化の著しい時代の中で、『お客様と共に未来を創る』をスローガンに、お客様が求める価値を共に創造し実現すると共に、その先に ある社会課題の解決を図り、持続可能な未来社会を創ることを目的として、新たに「長期経営ビジョン2030」 を策定いたしました。



業種別売上高(2022年3月期)





中期経営計画第二期

(2025~2027年度)

中期経営計画

『長期経営ビジョン2030』 のマイルストーンとして2024年度を第一期の、2027年度を第二期の最終年度とする『中期経営計画』 を 策定し、社会のDX化を加速させるとともに、既存事業の成長と収益性の向上、新規事業の創出による新たな成長分野の確立を図ることで、 確かなる事業成長を目指してまいります。



200億円 165億円 成長 土台形成

Topics

NEWビジネス

CHEER証券株式会社の新規開業に向け て、システム開発及びシステム基盤構築の 一部に携わってまいりましたが、この度シス テム運用及び運用監視業務を受注いたしま した。

CHEER証券は、近年のスマートフォンの 普及やデジタル化の進展を背景とした資産 形成層のお客様のニーズに対応した金融 サービスの提供を目的として設立され、当 社が培ってまいりました業務運用ノウハウを 投入し、当社の新たなビジネスモデルとして 24時間365日のシステム運用及び運用監 視サービスを提供いたします。当社は「お

客様が求める価値を共に創造し実現すると 共にその先にある社会課題の解決を図り、 持続可能な未来社会を創造する」を経営ビ ジョンとして掲げており、CHEER証券の今 後の更なる機能拡充等にも対応すべく、業 務システムのコンサルティングから、基盤 構築、開発、運用保守のBPO化【Business Process Outsourcing など、ワンス トップでサービス提供することを目指し、 CHEER証券のDX戦略をトータルでご支援 してまいります。

健康優良企業

2021年5月に健康保険組合連合会東京連 合会へ「健康企業宣言」を行い、健康経営・健 康づくりに向けた積極的な取り組みが評価さ れ、2022年3月2日付で健康優良企業「銀の 認定」を取得いたしました。(健銀第1925号)

中期経営計画の柱の一つとして経営基盤の 強化に取り組んでおり、なかでも「人こそ財産」 の考えの下、社員エンゲージメントの向上、社 員が健康に働ける職場づくりは重要テーマと 捉えております。引き続き、心身の健康を確 保しつつ生産性向上につながる職場づくりに 積極的に取り組み、企業価値の向上を目指し てまいります。



社会貢献•環境

公益財団法人日本ユニセフ協会への寄付

株式公開後の2002年3月期から、人が唯一の 財産である当社が、公開会社としての社会的責任 を果たすため、発展途上国の児童を飢餓や貧困か ら救済するユニセフ活動の趣旨に賛同して始めた ものです。2022年3月期で21年連続して寄付を 行っており、総額は1,510万円になりました。

地域貢献活動

地域貢献活動としては、「子供たちが広く社会の 見聞を深めて、健全に育ってほしい」という願いを 込めて、朝日新聞ニュースを本社の近くにあります 文京区立指ヶ谷(さすがや)小学校に定期的に寄贈 しております。

使用済み切手の回収、寄付

文京区社会福祉協議会を通じて、地域福祉事業 推進にご協力させていただいております。

地球温暖化防止への配慮

下記の対応を実施して、本社ビルの執務室内に おけるCO₂排出量の効果測定をしております。

- •グリーン購入の実施、グリーン | Tを意識した 業務活動
- •クールビズやエアコンの温度設定などによる
- 資料のペーパーレス化推進による省資源